



古河市議会議員

あなたの声を行政に！ハートフル古川

古川かずみ



一般質問の映像をご覧くださいませ



いつも温かいご支援ありがとうございます。夏の疲れは出ていませんか。季節の変わり目、心と身体の健康にご留意ください。私も生涯現役を目指して精進いたします。令和6年度第3回定例会が、9/4から9/20まで開催されましたのでご報告いたします。

一般質問1) インフラ老朽化対策について

インフラの耐久年数は約50年。高度成長期に一齐に整備されたインフラは、すでに耐久年数を超え、補修や建替えの時期にきています。能登半島地震では、上下水道、道路等のインフラが甚大な被害を受け、復旧にもかなりの時間を要しました。全国的に整備が進まない大きな要因として、財源不足があげられています。維持管理にあてられる土木費は、この30年で約半分、一方で、社会保障に関わる民生費は約3倍に。社会保障費の増大が、インフラ整備等の予算を圧迫しているのではないかと考えられます。

古河市におけるインフラ老朽化の現状と対策、財政状況を問いました。セーフティーネットとしての社会保障制度は必要であり、必要としている方にきちんと届く体制は必要ですが、そうでないところにまで拡大しすぎると、バラマキ政策となり財政を圧迫します。市民の生命・安全・財産を守るためのインフラ整備の財源確保のため各事業の目的と効果をしっかりと検証し、将来に備える必要性を訴えました。



一般質問2) 郷土愛を育む“ふるさと教育”について

世界価値観調査の「もし戦争が起こったら国のために戦うか」との問いに、日本は「はい」と答えた割合は13.2%で、世界79か国の最下位という結果に衝撃を受けました。自分の国に対する誇り、愛する心がなければその国が発展し続けるのは難しいのではないかと感じます。国を愛する心を育てる出発点は、自分の生まれ育った「ふるさと」に対する誇りであり愛着ではないでしょうか。

古河市でも、郷土愛を育むための取り組みは、学校や地域活動において行われています。鷹見泉石を主人公にした映画「SENSEKI」が来春公開されるとのこと。市としてもしっかりPRしていただき、映画をきっかけに、大人も子どもも、古河の歴史に興味をもち、郷土愛を育むような取り組みが活発になることを期待します。

「ふるさと教育」を重点施策としてとらえ、地元の自然・歴史・文化・産業などの地域資源を活かし、地域住民や地元企業、団体とも連携することは、古河市の発展にもつながることだと思います。

一般質問3) 道路の冠水対策について

6月30日に行われた地域防災訓練は、水害を想定し、自宅から浸水想定区域外のゴヨーふれあいスポーツセンターまで自家用車で避難する訓練でした。ハザードマップを見ながら、道路の冠水箇所を避けて避難所までのルートを検討しましたが、冠水箇所を避けることはできませんでした。道路の冠水対策はとられていますが、被害を防ぐためには、道路の冠水の情報をいち早く周知する必要があります。浸水検知センサーの設置を提案しました。



令和5年度・一般会計決算特別委員会での質疑（18事業について質問）

質問： 利便性向上のため、ぐるりん号のルート再編をしたが利用者が減少した。現状分析を誤った理由は。

答弁： 遅延解消、危険箇所回避、働き方改革等の理由でルートを再編したが、市民から要望があり見直した。

意見： 今後も市民の声をよく聞き、現場のニーズに合ったコース編成を求める。

質問： 地域猫活動となる飼い主のいない猫に対して不妊去勢手術が補助金の対象にならないのは何故か。

答弁： 県の補助制度があり、また民間の「どうぶつ基金」が発行する無料チケットが利用できるため。

意見： 地域猫活動は住民の理解が不可欠。ボランティア任せではなく、行政も積極的に周知活動をするべき。

質問： 就学児健診の案内は、仕事の休みを取る関係から最低1か月前には告知して欲しいとの声がある。

答弁： ご不便をおかけし申し訳ない。来年からは早めに周知するように改善する。

意見： 役所にも働くお母さんがたくさんいる。女性の声をよく聞いて決めて欲しい。

令和4年12月・一般質問
で導入を提言し、実現！

活動報告



台湾東部沖地震・災害被災者支援
義援金を寄託
(幸福実現党 日台友好議員連盟)
(左より)
周副代表・釈党首・古川・山野伊奈町議

- 6/30 地域防災訓練
- 7/3 台北駐日経済文化代表処・表敬訪問
- 7/9 家庭教育講演会
- 7/20 児童発達支援講演会
- 7/24 自衛隊古河駐屯地・納涼祭
- 8/2 人権教育講座
- 8/3 古河花火大会
- 8/7 国道354号古河境間整備促進・
県市町議員連盟総会
- 8/10 幸福実現党・日台友好セミナー
- 8/18 市政報告会(はなももプラザにて)



市民の声より



台湾教授協会
陳俐甫博士の講話



幸福実現党の主張 — 「小さな政府・安い税金」

日本型資本主義の原点→ 勤勉に働き収入の範囲内で生活し富を蓄え、その富を有効なことに生かして経済を大きくするという「二宮尊徳精神」。

政府の仕事→ 努力するものが報われる「原因結果の法則」、チャンスの平等をつくること。

具体的には→ ① 減税政策で民間が使えるお金を増やす。法人減税、所得税のフラットタックスを目指す。

② 規制緩和により民間の経済活動を活発化させる。

③ 増税につながる補助金や給付金は原則廃止する。

『政府の機能は、できるだけ最小限に抑えて、個人や企業の力を阻害しているものを取り除き、それらの力を最大限に発揮させることによって、繁栄・発展する道をひらいていくことこそ、本道であると思うのです。』

「夢のある国へー幸福維新」より

古川かずみ 1962年9月15日生 大阪出身 おとめ座A型 夫と娘3人

古河市議会議員(会派に属さない議員) / 文教厚生常任委員会 / 幸福実現党 茨城県本部副代表 / 幸福実現党 日台友好議員連盟会長

不登校児支援スクール「ネバー・マインド」相談員 / 一般社団法人「ユー・アー・エンゼル」(障がい児支援)相談員

【略歴】 同志社女子大学卒業 旅行代理店勤務後、イギリス語学留学。バックパッカーでヨーロッパ・中東諸国を遊学。

帰国後、英語塾で専任講師。結婚後古河市に転入。中学校非常勤講師等を経て、令和元年4月より古河市議会議員。

古河市南町 2-10 TEL090-6654-3262 皆様のご意見をお聞かせください

